



2023年3月14日 No. 7  
全日本建設交運一般労働組合 中央本部

# 建交労

2023年春闘・月間推進ニュース

## 3.9全国50万人行動でスト宣伝行動を実施! 23春闘推進へ、3/15は第2次回答指定日!

建交労 3.2 中央行動を経て、3/8～9に全労連が提起する全国50万人行動が実施されました。3/9には、東京・京王新労組、鉄道本部（JR貨物、西日本）でストライキ行動及び社前での宣伝行動を実施しました。

「東京・京王新労組（バス関連支部）」は、不誠実団交をくり返す会社側の姿勢を糾弾し、京王電鉄本社前にてスト決起宣伝行動を実施し、23年春闘をアピールしまし



東京・京王電鉄本社前で決起行動



東京・JR貨物本社前での抗議行動

た。「鉄道本部」は、2月15日の一斉要求提出日に合わせてJR各社へ要求書を提出しましたが、回答は出ていません。コロナ禍でJR各社は2年連続で赤字決算でしたが、回復傾向でJR本州3社（東日本、東海、西日本）は黒字に転じる見込みです。2年間賃上げを据え置かれた西日本では指名スト行動を実施し、京都・大阪で支援者と共に宣伝行動を行ないま

した。また、JR貨物本社前（東京新宿区）の抗議行動にもとりくみました。

3/15（水）は、第2次回答指定日となります。各組織では、物価高騰を乗り越える賃上げを目指して奮闘しています。

しかし、要求提出は147組織38. %の到達です。回答は、33組織22. 5%です。

各県本部・支部では、所属の職場組織への点検活動を必ず実施しましょう。

「中小企業の経営は厳しいから」と要求提出と控える、あるいは「どうせやっても変わらない」という仲間たちの思いや声が出てくるかも知れません。しかし、それでは私たちの生活は守れません。物価や光熱費等の値上げが継続する中で。賃上げ要求を持たないことはあり得ません。また、内部留保を溜め込む中小企業も少なからず存在します。要求提出、団交をおこない、会社の経営実態を知ることが大切です。制度を活かした待遇改善も要求の一つです。最後まであきらめずに奮闘しましょう。



支援者と共に京都市内でのスト決起行動

# 神奈川交運共闘3.5自動者パレード 4年ぶりに開催、車両31台で春闘アピール

コロナ禍で中止を余儀なくされていた神奈川交通運輸労働組合共闘会議(略称：神奈川交運共闘)主催の自動車パレードが4年ぶりに3月5日(日)に行われ建交労からはダンプ3台、宣伝カー1台と7名が参加しました。全体の参加車両は、海コン4台・ダンプ3台・タクシー15台、軽貨物1台・乗用車5台、宣伝カー3台の合計31台で参加者は40人でした。



パレードの出発会場となった横浜山下ふ頭で午前10時45分から決起集会が始まり、主催者挨拶を行った神奈川交運共闘の冨松議長は冒頭で4年ぶりに自動車パレードが出来る喜びと今後も継続をしていく決意を表明したのち安保3文書をはじめ大軍拡・大增税など国の最重要課題を国会での議論も経ずに閣議決定で強行する岸田政権は許せないと厳しく糾弾しました。来賓の住谷神奈川労連議長は「物価上昇を上回る賃上げを実現しよう！地方から政治を変えるために岸まきこ神奈川県知事選挙予定候補を勝利させよう！」と訴えました。続いて、首都圏交運共闘の林事務局長は「今春闘で交通運輸労働者が一丸となって劣悪な賃金を改善しよう！」と呼びかけました。決起集会のメは、神奈川交運共闘の高橋副議長(建交労神奈川県本部書記長)が「岸田首相は国民の声をよく聞け！戦争をする国にするな！とパレードをとおして訴えよう！！」と力強く決意表明して決起集会を終了しました。パレードは宣伝カーを先頭にダンプ、海コン、タクシーの順で3隊を編成して山下埠頭を出発、神奈川県庁前を通り、みなとみらいを周回して山下埠頭に戻り流れ解散となりました。

## 3.8全労連春闘速報に建交労の仲間が出演しました

2023年春闘を促進するとりくみとして、3月8日夜7時から全労連が春闘回答ライブ速報を実施しました。全労連黒澤幸一事務局長、柳恵美子副議長が司会進行をおこない、全労連加盟の各単産組織に所属する職場からの回答速報をテロップで流し、主な組織から闘いの経過報告がありました。建交労からは「群馬学童支部、鉄道本部、首都圏運輸集交団」の代表者が約5分間発言をおこないました。



ライブ速報で発言する群馬学童支部の仲間

また、全国トラック部会鈴木正明事務局長が、2024年から運輸労働者へ適用される時間外労働規制のとりくみ状況について、ビデオ発言をおこないました。

2023年賃上げ回答状況（県別） 2023年3月14日現在

地本名	交渉単位数	要求提出数	要求提出率 (%)	月給						
				要求額 (円)	回答数	回答額 (円)	前年比 (円)	妥結数	妥結額 (円)	前年比 (円)
JR	6	6	100.0	34,000	0			0		
北海道	21	1	4.8	30,000	0			0		
青森	3	0	0.0		0			0		
岩手	3	0	0.0		0			0		
宮城	1	0	0.0		0			0		
秋田	3	1	33.3	36,000	0			0		
山形	2	0	0.0		0			0		
福島	2	0	0.0		0			0		
茨城	3	0	0.0		0			0		
栃木	2	2	100.0	32,000	2	0	-1,338	0		
群馬	13	0	0.0		0			0		
埼玉	8	0	0.0		0			0		
千葉	1	0	0.0		0			0		
東京	29	20	69.0	31,810	6	1,836	294	0		
神奈川	14	8	57.1	40,375	4	500	-816	0		
新潟	3	1	33.3	35,000	0			0		
富山	2	0	0.0		0			0		
石川	0	0			0			0		
福井	0	0			0			0		
山梨	1	0	0.0		0			0		
長野	4	1	25.0	50,000	0			0		
岐阜	7	0	0.0		0			0		
静岡	10	6	60.0	38,800	0			0		
愛知	76	19	25.0	25,406	5	1,760	-6,340	2	1,750	-6,171
三重	2	2	100.0	45,000	0			0		
滋賀	6	0	0.0		0			0		
京都	26	18	69.2	29,778	0			0		
大阪	41	20	48.8	34,624	7	2,427	641	1	987	-1,309
兵庫	42	25	59.5	40,462	6	4,014	1,083	0		
奈良	0	0			0			0		
和歌山	6	0	0.0		0			0		
鳥取	2	0	0.0		0			0		
島根	0	0			0			0		
岡山	0	0			0			0		
広島	4	0	0.0		0			0		
山口	0	0			0			0		
徳島	6	0	0.0		0			0		
香川	0	0			0			0		
愛媛	0	0			0			0		
高知	1	0	0.0		0			0		
福岡	15	14	93.3	33,002	1	3,000	-697	0		
佐賀	2	1	50.0	10,000	1	4,626	602	0		
長崎	1	0	0.0		0			0		
熊本	7	2	28.6	22,000	0			0		
大分	4	0	0.0		0			0		
宮崎	0	0			0			0		
鹿児島	1	0	0.0		0			0		
沖縄	3	0	0.0		0			0		
全国平均	383	147	38.4	33,757	33	2,258	-2,521	3	1,496	-3,533